

平成 29 年 9 月 4 日

一般社団法人 温室効果ガス審査協会 ASSET 事業運営センターでは、環境省から平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業（ASSET 事業）。以下、「本事業」という。）の交付決定を受け、1 次公募（4 月 27 日～5 月 25 日）並びに 2 次公募（6 月 30 日～7 月 27 日）を行いました。

引き続き、3 次公募を行います。これまでの公募と異なる内容もありますので以下詳細をご確認の上、宜しくご検討下さい。

1. ASSET 事業の概要

本事業は、率先して先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組む事業者が、ア) L2-Tech 認証製品の導入、イ) L2-Tech 認証製品以外でエネルギー起源二酸化炭素削減効果のある機器の導入、ウ) 運用改善等を組み合わせることにより、事業場・工場における適切な CO2 排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、本事業の参加者全体で排出枠を調整し、補助事業全体で確実な排出削減を担保し、業務・産業両部門における CO2 排出量を効率的に大幅削減することを目的としているものです。

2. 3 次公募期間

平成 29 年 9 月上旬から 3 週間程度を予定しています。

公募を開始する際には、本ホームページを通じて、その旨を公表いたします。

3 次公募の説明会は実施しません。本ホームページに既に公表している公募説明会資料および Q&A(URL: <http://www.asset.go.jp/contact/qanda>)を参考にしてください。

3. 対象者

本事業の参加には、以下の三通りの方法がありますが、今回も、目標保有者を 3 次公募いたします。

目標保有者	一定量の排出削減を約束する代わりに、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金と排出枠の交付を受ける参加者。(今後募集をする「平成 29 年度先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業」の採択事業者)
自主参加者	補助金を得ずに自己資金による設備更新や運用改善を以って排出削減目標を設定し事業に参加する事業者。
取引参加者	目標保有者の目標達成の円滑化を目的に、排出枠の仲介を目的とする参加者。 取引参加者に対しては、補助金及び排出枠の交付はされません。

目標保有者の要件は、以下のアからオの法人・団体になります。

ア 民間企業

イ 独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 2 条第 1 項に規定する独立行政法人

ウ 一般社団法人・一般財団法人及び公益社団法人・公益財団法人

エ 法律により直接設立された法人

オ その他大臣の承認を得て補助事業者が適当と認める者

4. 対象事業

<優先対象事業>

国内の事業場・工場において、L2-Tech 認証製品等の導入を行う事業のうち、以下①から⑦の要件をすべて満たし、③項において、別紙1A、1Bに○印で示す設備・機器等を含む提案を募集します。

<その他応募事業>

前項の<優先対象事業>を優先審査の結果、予算額に達しない場合には、すでに3事業を採択した「設備・機器等」を含むすべての提案（③項において、別紙1A、1Bに○印のないものみの提案も可）で、以下①から⑦の要件をすべて満たすものについて、費用効率性に基づくリバースオークション方式により、予算の範囲内で補助事業を選定します。但し、提案が集中した「設備・機器等」については、環境省と協議の上、採択件数を制限する場合があります。

なお、補助対象事業等詳細な要件については、本ホームページに既に公表している目標保有者用の実施ルール・様式（URL: <http://www.asset.go.jp/rule>）を参照ください。

- ① 事業場・工場における基準年度排出量（実施要領第3（2）②参照）が50t-CO₂以上であること
- ② 補助事業実施後の事業場・工場の二酸化炭素排出量が、基準年度比で削減される事業内容であること
- ③ 別紙1「環境大臣指定設備・機器等一覧」に掲げる設備・機器等に属する製品を少なくとも1つ以上導入すること
- ④ L2-Tech 認証製品の材料費が補助事業で導入する機器の材料費全体に対して50%以上であること
- ⑤ 運用改善等による排出削減目標量が排出削減目標量全体に対して10%以上であること
- ⑥ 平成28年度に二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業）により機器等を導入した事業場・工場でないこと。
- ⑦ L2-Tech 認証製品を導入したことによるCO₂削減効果及びランニングコスト削減効果が定量的に把握可能であること

5. 問合せ先

一般社団法人 温室効果ガス審査協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29-1 住友不動産一ツ橋ビル7階

ASSET 事業運営センター 事業部 角田、戸根、宮池

問合せメールアドレス：asset@gaj.or.jp

以上

2016年度夏版L2-Tech認証製品一覧
(○印は優先対象)

別紙1A

技術体系	設備・機器等	優先対象	
産業・業務 (業種共通)	空調機(ヒートポンプ・個別方式)	ガスヒートポンプ パッケージエアコン(店舗・オフィス用) パッケージエアコン(設備用) パッケージエアコン(ビル用マルチ) 氷蓄熱式パッケージエアコン	○
	熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)	ターボ冷凍機 水冷ヒートポンプチラー 空冷ヒートポンプチラー	○
	熱源・空調機(吸収式・中央方式)	吸収冷温水機(二重効用) 吸収冷温水機(三重効用)/廃熱投入型吸収冷温水機(三重効用) 一重二重併用形吸収冷温水機	○ ○
	熱源・空調機(吸着式・中央方式)	吸着式冷凍機	○
	熱源(ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式)	○
		高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式)	○
		高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式)	○
		高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)	○
		高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式)	○
		高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式)	○
		熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)	○
		蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式)	○
	蒸気再圧縮装置	○	
	給湯器(ヒートポンプ)	ヒートポンプ給湯機(空気熱源・一過式)	
	給湯器(ガス式)	潜熱回収型給湯器	
	ボイラ	温水機	
		蒸気ボイラ(貫流ボイラ)	
		蒸気ボイラ(炉筒煙管ボイラ)	○
		蒸気ボイラ(水管ボイラ)	○
	熱媒ボイラ	○	
	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション	○
		ガスタービンコージェネレーション	○
		燃料電池コージェネレーション	○
	冷凍冷蔵機器	業務用冷凍冷蔵庫	○
		空気冷媒方式冷凍機	○
		冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機(アンモニア/CO2二次冷媒システム)	○
	照明器具	LED照明器具	
モータ	誘導モータ		
	永久磁石同期モータ	○	
変圧器	変圧器	○注1	
窓	窓ガラス		
エネルギーマネジメントシステム	BEMS(制御サービス・空調・熱源・中央方式)		

注1. 変圧器には油入り変圧器とモールド変圧器があるが、優先対象はモールド変圧器のみ。

2016年度冬版L2-Tech認証製品一覧
(○印は優先対象)

別紙1B

技術体系	設備・機器等	優先対象	
産業・業務 (業種共通)	空調機(ヒートポンプ・個別方式)	ガスヒートポンプ パッケージエアコン(店舗・オフィス用) パッケージエアコン(設備用) パッケージエアコン(ビル用マルチ) 氷蓄熱式パッケージエアコン	○
	熱源・空調機(ヒートポンプ・中央方式)	フロン類等冷媒ターボ冷凍機 自然冷媒ターボ冷凍機 水冷ヒートポンプチラー 空冷ヒートポンプチラー	○ ○ ○
	熱源・空調機(吸収式・中央方式)	間接気化式冷却器 吸収冷温水機(二重効用) 吸収冷温水機(三重効用)/廃熱投入型吸収冷温水機(三重効用) 一重二重併用形吸収冷温水機 木質ペレット直焚き吸収冷温水機(二重効用)	○ ○ ○ ○
	熱源(ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式) 高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式) 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式) 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式) 熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式) 蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式) 蒸気再圧縮装置	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	給湯器(ヒートポンプ)	ヒートポンプ給湯機(空気熱源)	
	給湯器(ガス式)	潜熱回収型給湯器	
	ボイラ	温水機 蒸気ボイラ(貫流ボイラ) 蒸気ボイラ(炉筒煙管ボイラ) 蒸気ボイラ(水管ボイラ) 熱媒ボイラ	○ ○ ○ ○
	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション ガスタービンコージェネレーション 燃料電池コージェネレーション	○ ○ ○
	冷凍冷蔵機器	空気冷媒方式冷凍機 冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機(アンモニア/CO2二次冷媒システム)	○ ○
	照明器具	LED照明器具	
	モータ	誘導モータ 永久磁石同期モータ	○
	変圧器	油入変圧器 モールド変圧器	○
	モータ利用機器(圧縮機)	蒸気駆動圧縮機 熱回収式ねじ容積形圧縮機	
	窓	Low-E複層ガラス(LE3+A12+FL3) 三層Low-E複層ガラス(LE3+Ar11+FL3+Ar11+LE3) 真空Low-E複層ガラス(LE3+Ar9+FL3+V0.2+LE3) アタッチメント付きLow-E複層ガラス(LE3+Ar6+FL3(アタッチメント付き)) 真空ガラス(LE3+V0.2+FL3) 現場施工型後付けLow-E複層ガラス(FL6+A12+LE5) 薄型Low-E複層ガラス(LE3+Kr4+FL3)	○ ○ ○ ○ ○ ○
	洗濯機	業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	○
	エネルギーマネジメントシステム	BEMS(制御サービス・空調・熱源・中央方式)	